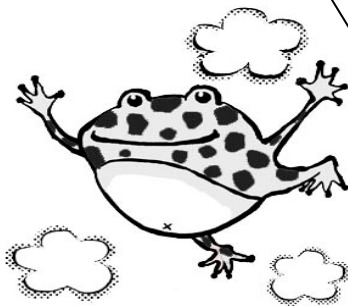


# かえる便り 29年度30号

平成30年1月18日

新春の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

今年が始まって僅か3週間ですが、すでに夢を追いかけることをやめたように見える部員がいます。約束違反や不勉強、中途半端なプレーしかしないなどです。指示したことをやろうとする姿勢が見られない部員がいて残念です。逆に、指示したことを忠実に実行する努力をしてプレーが変わっている人も増えています。そのような人が増えることを期待しつつ指導をしています。便りは、部員達にいろいろな考え方を知って羽ばたいて欲しいから出すのです。井の中の蛙 で終わって欲しくないのですが…。



一年の計は元旦にあり 一日の計は朝にあり  
元旦の日に自ら決めた夢や決意を日々反省して、確認して一日をスタートすることが重要なのです。  
便りは習慣・心構えを変えて欲しいから出していますが、自ら変える努力をしなければ変化はおきませんね。今変わる努力をしない人は、おそらく変わる可能性は低いですね！過去の経験から…残念です。

子どもに“夢”は何ですかと聞くと、様々な夢を語ってくれます。部員達の夢は何なのでしょう？ノートに書いている夢（目標）は、叶えたいと切に思う夢ではなく、書くためのものなのでしょう？ 夢＝ゴール だとすると、夢を諦めたら何処を目指すのでしょうか？ 私の夢は 大人になるまで生きること これは、フィリピンのゴミ捨て場で必死に金目になる物を探す少女に聞いた答えです。日本においてこのような境遇の子供は、滅多にいないと思います。彼女の夢は大人がゴールですよ!!私たちは、大人になって〇〇をする ために努力しているのではないですか？必死に生きる努力をしている子供に比べ物質的に幸せですが、心は？

この道より 我を生かす道はなし この道を行く

部員達がサッカーをするのは、自分を生かす道なのではないのでしょうか？人生は選択の連続です。もし、自分を生かす道でないとしたら、方向転換した方が良いと思います。また、自分を生かす道かどうか分からないのであれば（そのような人が多い）、必死に行動してその道で成功する努力をし、可能性を高めるべきではないのでしょうか？ 与えられた場で懸命に生きることが自分の道ではないのでしょうか？